

前進座公演

北九州市立松本清張記念館プロデュース
松本清張=原作 鈴木幹二=脚色・演出

松本清張 朗読劇シリーズ 『或る「小倉日記」伝』



柳生啓介



浜名実貴



津田恵一

前進座は、北九州市にある松本清張記念館で記念館友の会の企画として朗読劇を年1回、18年以上に亘って上演して参りました。たくさんの作品の中から、芥川賞受賞作品『或る「小倉日記」伝』をお届けします。松本清張が小説家となるきっかけとなった作品です。清張作品の作風を活かしながら一時間に凝縮した鈴木幹二の脚色、出演者三人のアンサンブルは、皆様の五感を揺さぶることでしょう。

◇あらすじ

森鷗外が小倉市（現北九州市）に滞在した2年10ヶ月について、調べて歩く一人の青年がいた。田上耕作というその青年は、体こそ不自由であったが頭脳が明晰で、地元の指導的文化人である白川慶一郎のもとに出入りし、資料調査の手伝いなどをしていた。ある時、鷗外の小倉時代の日記が散逸したことを知り、失われた空白を、当時流行し始めた民俗学の調査方法で「資料採集」し、埋めていくことを思い立った。耕作は、鷗外調査に打ち込んだ。鷗外がフランス語を学んだベルトラン神父や、朋友・玉水俊雄の未亡人、鷗外に度々原稿を依頼していた元門司新報支局長・麻生作男など、小倉時代の鷗外を知る人物に取材し、鷗外像や交友関係が明らかになってゆくにつれ益々情熱を燃やした。調査資料が嵩を増す一方で、耕作の病状は悪化した。昭和25年の暮、鷗外が「冬の夕立」と評した空模様の日、ついに息をひきとった。東京で鷗外の「小倉日記」が発見されたのは翌年のことであった。

2022年 2月7日(月) 14:00 開演

※13:30開場

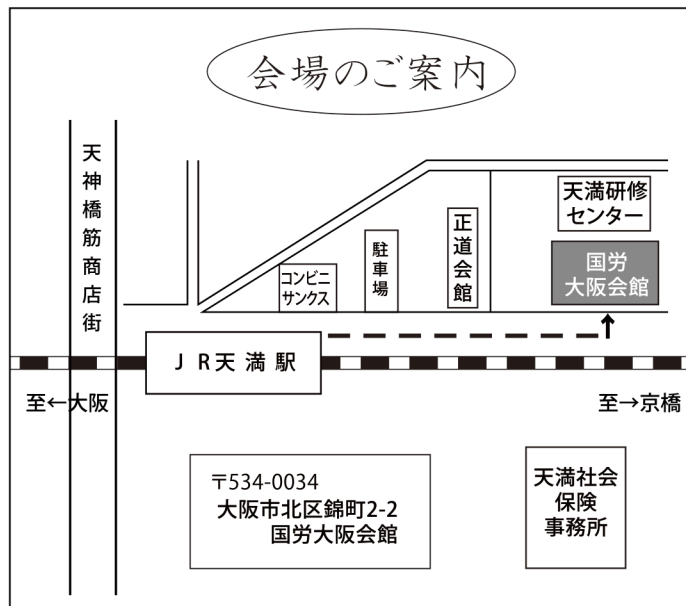
大阪市 国労大阪会館 大会議室

【ご観劇料金】(税込) 全席自由席 3,000円
(当日3,500円)

※出演者によるアフタートークがあります。

【お問合せ】

日本コリア協会・大阪 TEL:06-4800-0114
飯田光徳 TEL:090-3264-6255
劇団前進座関西事務所 TEL:06-6212-9600



※本公演は、関係各所の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿って十分な対策を講じて実施いたします。